

抄録

演題：“動作”を診れるようになる

社会医療法人天神会 新古賀病院

理学療法士

太田 頌子（おおたしょうこ）

第 1 回目から行われてきた実技広場は、毎回趣向を凝らした企画が盛り込まれ、活発に意見が飛び交い、技術の習得や情報交換の場として、多くの参加者に期待され楽しみにされてきました。

6 回目を迎えた今年“理学療法士（以下 PT）による実技広場を”と光栄な依頼を頂き、責任ある企画に不安な気持ちもありましたが準備を進めてまいりました。

日常の臨床の現場ではどのような評価・アセスメントを行っているでしょうか。私たち PT が行う評価の最大の特徴は“動き”を診ることです。足に起こるトラブルの多くは圧力や摩擦力が関与しています。その原因がどこにあるか考えたことはありますか。下肢の関節の動き、身体全体の動きを診ることでそれは分かり、次に起こるかもしれないトラブルを予防することにも繋がるのです。

これまでのフットケア実技で得た知識や技術に動作評価のエッセンスを加えることで、より高い医療の提供が可能となります。少しでも患者様に有益な外来診療となるよう、今回は“動作を診る”というポイントに絞って実技を行いたいと思います。是非ご参加をお待ちしています。

- ① 姿勢と動作の診方（講義形式）
- ② ペアを組んで実際に評価してみよう（実技）